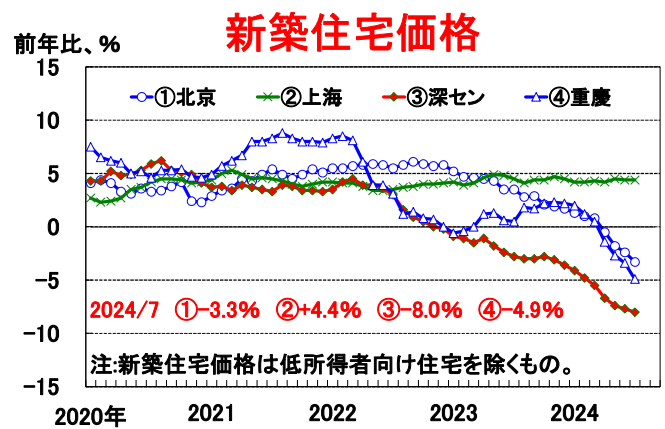
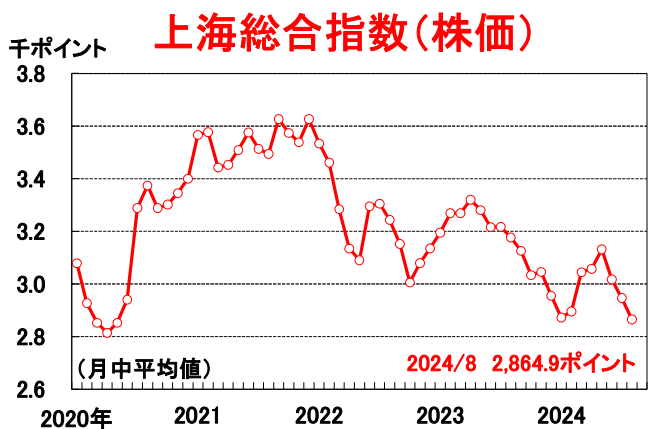
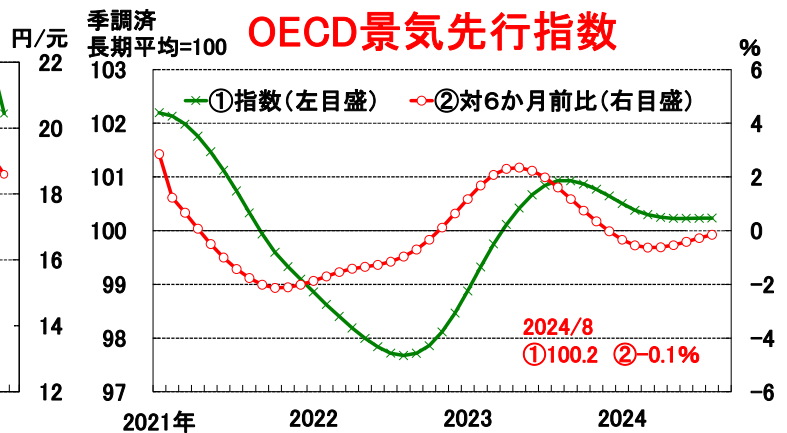
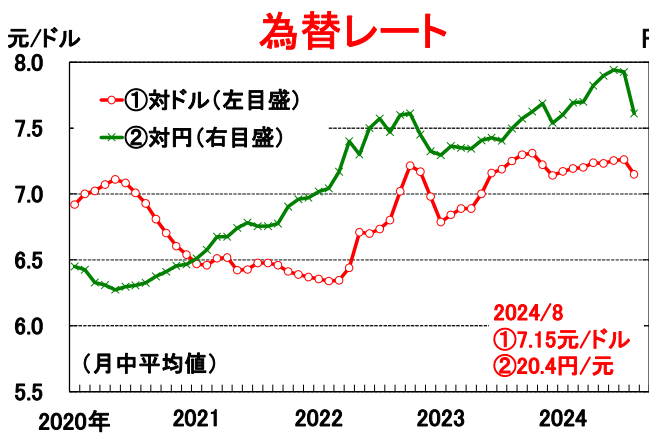
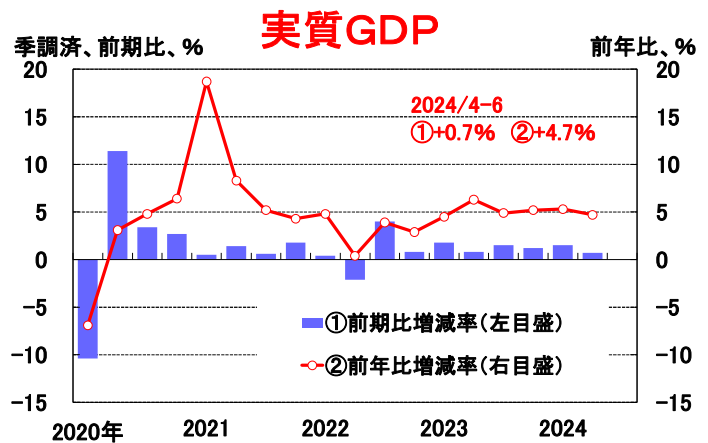
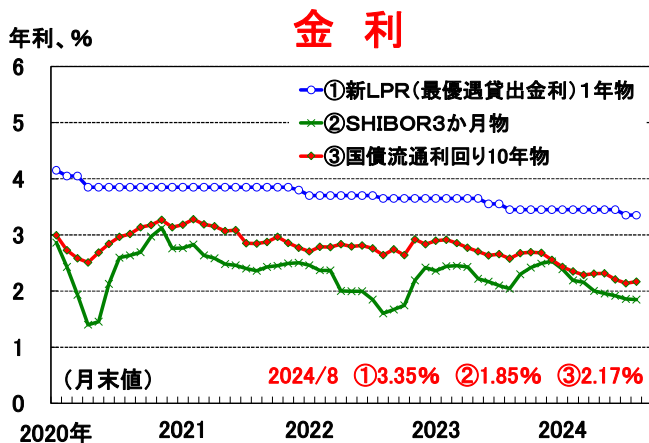
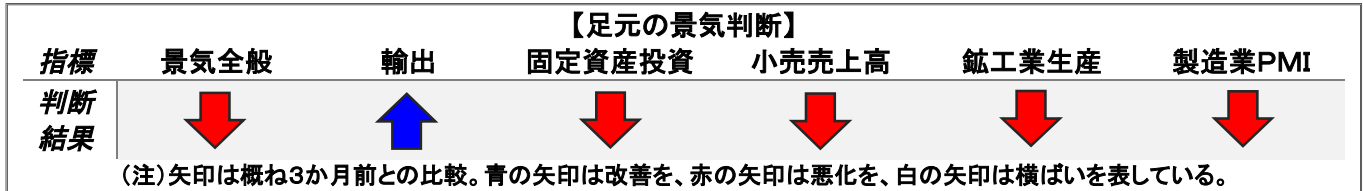


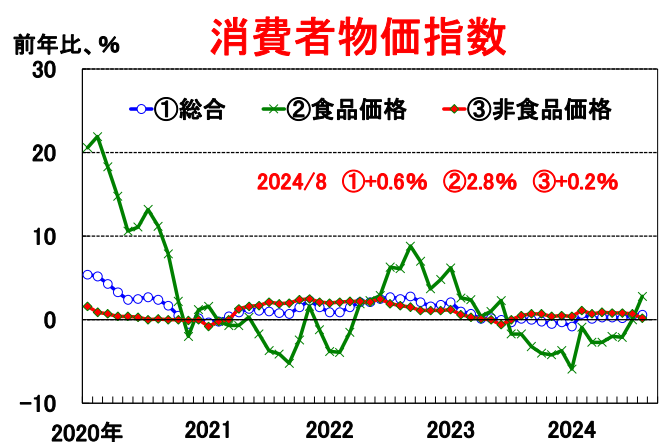
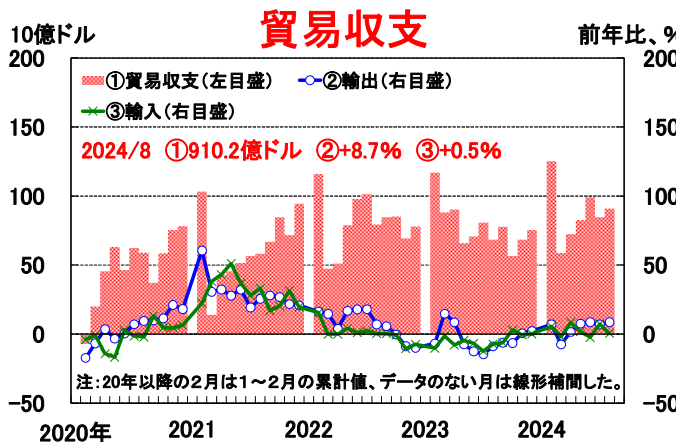
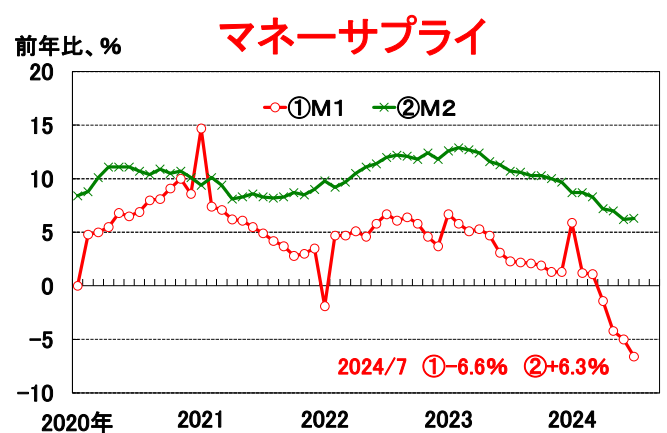
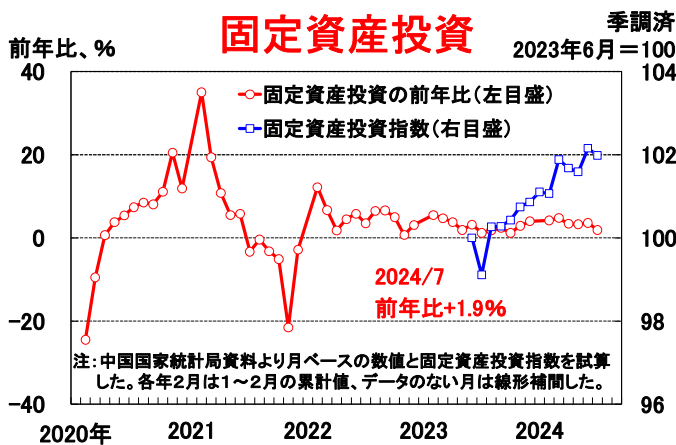
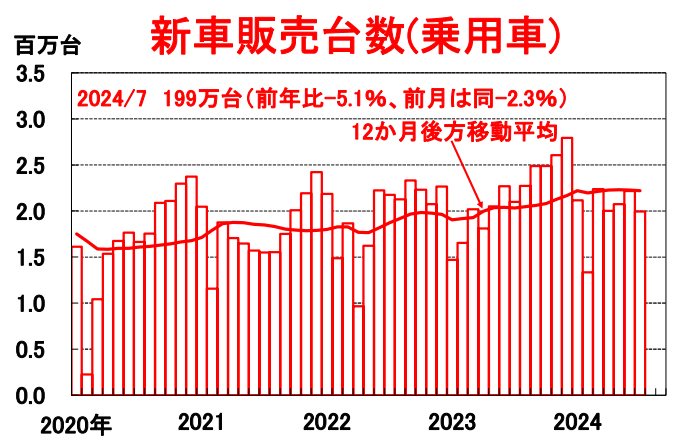
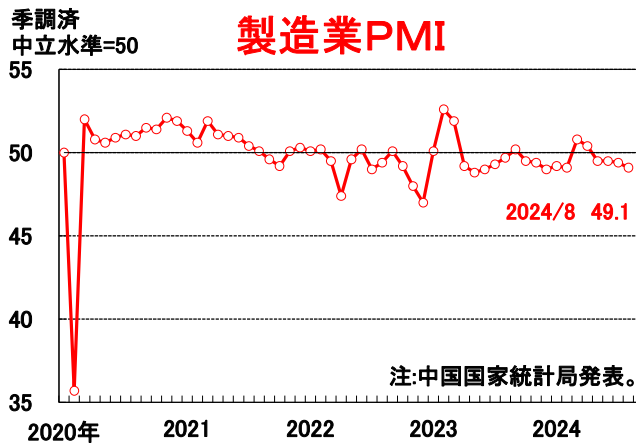
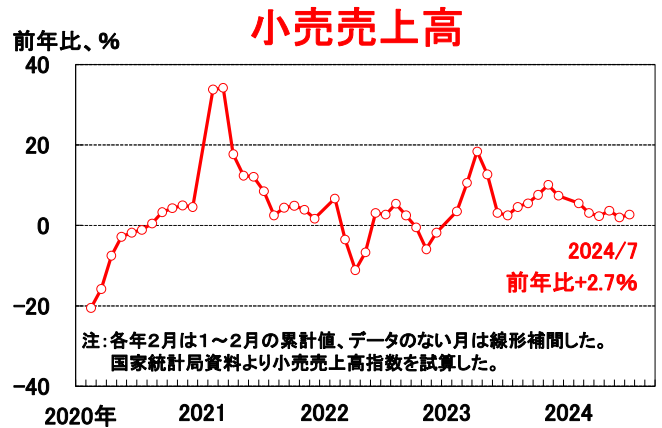
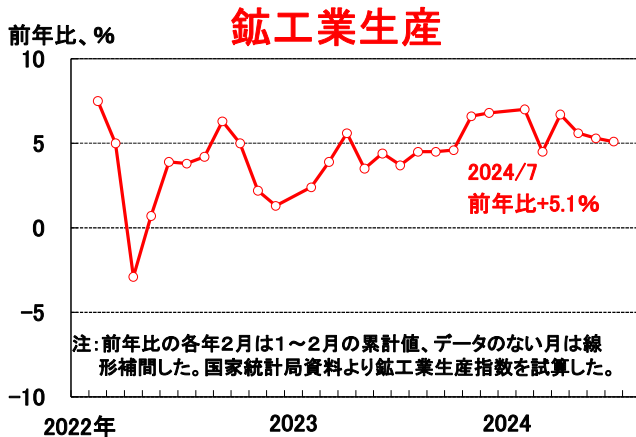
グラフで見る中国経済 2024年9月号(No. 184)

中国景気は回復の足取りが依然鈍い。7月の固定資産投資は前年比+1.9%と増勢が弱まった。住宅販売の不振などを背景に不動産業の投資が再び前年比2桁減となったことが固定資産投資全体の伸びを押し下げた。また、個人消費の動きを表す小売売上高は同月に同+2.7%と、引き続き緩慢な回復にとどまった。内訳をみると、自動車や家電製品などが減少した。こうした中、同月の鉱工業生産は同+5.1%と3か月連続で増勢が弱まった。続く8月の製造業PMI(中立水準は50)は、新規受注の減少などから、49.1と2か月連続で低下した。



(出所) 中国人民銀行、中国国家统计局、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) 中国国家统计局、中国海関総署、中国商務部、中国汽車工業協会、中国物流購買連合会、中国人民銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。